

第6回豊川市総合計画審議会での意見及び対応一覧（基本計画）

	該当箇所	意 見	委員	対応状況
1	全般	行政分野別計画は各施策をまとめている章なので、各施策の右ページについて、まず何をやるのかということが書いてあるべきで、KPI や指標が先に出てくるのはおかしいと思う。目標の下に何をやるのかという具体的な取組などの話があって、KPI は最後に掲載するようなレイアウトがふさわしいと思う。ここはあくまでも施策の取組を並べるページであるから、工夫していただきたい。	浅野副会長	いただいたご意見を踏まえ、レイアウトを見直しました。
2	第4章 政策5	重要業績評価指標（KPI）の内容を見直してはどうか？全体的にあまり意味のない指標となっていて、主な手段と事業例に内容が沿ってない。	河合委員	主な手段と事業例に基づく取組により、改善を目指す方向性を共有するために有意義と考える指標を設定しているため、原案のとおりとさせていただきます。
3	第4章 政策5 施策1	最近問題になっている学校のプールの件で、豊川市として民間屋内温水プールを活用する事業例があるが、背景としてプールの老朽化や指導員の負担など学校側の事情が大きいと感じる。スポーツ庁の学習指導要領ではあくまでも水難事故で命を守るために必要と位置づけもしている。行政側の負担だけを考えずに、子育てしている家庭に対しての支援も盛り込むべきである。また、夏休みに民間屋内プール利用券を配布するなどの対応をしてみてもどうか？	河合委員	関係課と共有させていただきます。
4	第4章 政策5 施策1	保幼小中一貫教育を代田保育園・代田小学校・代田中学校とやってみてはどうか？文化会館跡地の有効活用と豊川市としてとがった政策にしてみるのも豊川らしさを出す良い事業となると思う。	河合委員	関係課と共有させていただきます。
5	第4章 政策5 施策1	将来を担う子供たちの健やかな「学校生活」は重要な事であるが、昨今気になる事は課外活動のスポーツ支援が指導者不足から大分低下していると聞いているが、その実態と低下防止施策は？ そして、その KPI 計画は？	権田委員	事業例「部活動の総合支援」において、外部指導者を中学校へ派遣する取組を実施しており、実施計画における計画事業量として、派遣人数を増やしていくことを予定しています。

	該当箇所	意 見	委員	対応状況
6	第4章 政策5施策1	KPI がすべて感覚的（満足度、自己評価、好きかの調査）なため、施策の効果を適正に評価するためにも、具体的な実数の KPI も必要ではないか。 将来目標に「確かな学力」とあるが、何をもって「確か」なのかを具体的に示していただきたい。（学力は数字で評価可能）	鈴木委員	KPI については、学校に通う児童・生徒やその保護者がとらえる状況が、本施策の状況をとらえるうえで必要な指標であると考えため、原案のとおりとさせていただきます。 また、将来目標の「確かな学力」とは、知識や技能に加え、学ぶ意欲、主体的に学習に取り組む態度などを含めた総合的な学力のことを表現しています。学力を数値で評価することも可能ではありますが、計画において数値を示すことの是非については慎重な議論を要する事案であるため、掲載は見送らせていただきます。
7	第4章 政策5施策2	生涯学習のすそ野を広げる意味でも、図書館利用の KPI は貸出冊数より利用者数のほうが適切ではないか。	鈴木委員	市中央図書館は、施設の構造上、喫茶店利用者も来館者（＝利用者）としてカウントしてしまうため、原案のとおりとさせていただきます。
8	第4章 政策5施策3	事業例に「高齢者や障害者がスポーツに親しむ機会の創出」とあるが、具体的にどうことが行われるのか。	細井委員	多様な主体が参加できるニュースポーツ出前教室や中学校区スポーツ交流事業などの開催のほか、社会福祉協議会等の関係機関と連携しながら、障がいのある方、高齢の方が気軽にスポーツに参加できる環境を醸成したいと考えています。
9	第4章 政策5施策3	事業例に「指導者・ボランティアの育成」について、各競技団体としてはジュニア教室などを指導者が考えてそれぞれ開催しているが、各競技への指導者・ボランティアの育成という意味で行政からの働きかけが少ない、あるいはないように感じている。この事業例は現在どのように進んでいるかをお聞きしたい。	近藤委員	指導者の育成については、資質向上を図るための研修機会の周知や各種表彰等を通して活動意欲を喚起しています。また、ボランティアの育成については、市主催事業のボランティアを企業や学校等に対し募集し参加いただいています。
10	第4章 政策5施策3	市は、観光協会への委託事業でスポーツ・文化活動等宿泊支援事業を実施しているが、資料の中に記載がないので、そういう取組を計画の中に記載してはどうか。	平賀委員	いただいたご意見を踏まえ、政策6施策6「観光の振興」において、事業例に「スポーツ・文化活動等宿泊への支援」を追加しました。

	該当箇所	意 見	委員	対応状況
11	第4章 政策5施策4	若者の文化芸術振興を促進策として実行することや KPI 設定を希望。	鈴木委員	毎年策定する実施計画において検討するよう、関係課と共有させていただきます。
12	第4章 政策5施策4	豊川市の小中学生は平和公園での学習は必須なのか？必須でなければ、平和教育は豊川市にとって非常に重要なことであるので、小中学生全員の学習参加必須化を希望。	鈴木委員	市内の全小学校の6年生が見学する事業を実施しており、今後も継続していくことが重要と考えております。
13	第4章 政策6	新事業創出の支援は政策①②③全てにかかわる事なので、①②③すべての施策に入れてみてはどうか？また、農業と工業と商業の縦割りの施策ではなく、時代の流れに適した施策としてはどうか？1次産業と6次産業のコラボ等、付加価値を高めるための取組みをするべきだと感じる。	河合委員	いただいたご意見を踏まえて、基本構想第4章「まちづくりの目標と施策の骨組み」において、目標6（産業・雇用（政策6））の説明文に付加価値の向上や新産業の創出について記載しました。
14	第4章 政策6施策1	本市の農業生産額は直近200億円弱と思われるが、指標4の令和5年度1,627億円は何を引用しているのか、補足説明が必要と思われる。	権田委員	金額の桁数を誤っていましたので、修正しました。
15	第4章 政策6施策1	農業振興策として農地・農業用施設の流動化は重要と思われるが、農産課で取り組んでいる「農地及び施設のバンク事業」の促進及びその結果も紹介されたいと思う。	権田委員	「農地及び施設のバンク事業」については、事業例「農地利用集積、経営所得安定対策の推進」として整理させていただいております。
16	第4章 政策6施策1	新規就業者数を KPI にしているが、農業の効率化、大規模化、法人化が進む状況での農業振興を正しく評価する KPI は他にないのか。	鈴木委員	いただいたご意見を踏まえ、KPI③を「農用地の集積率」に変更しました。 なお、KPI①「新規就農者数」については、本施策の状況をとらえる適切な指標であると考えため、原案のとおりとさせていただきます。
17	第4章 政策6施策2	政策6施策1「農業の振興」と政策6施策3「商業の振興」には販売額や出荷額が現況や KPI に掲載されているが、政策6施策2「工業の振興」には出荷額が入っていないので、入れていただきたい。	小野会長	いただいたご意見を踏まえ、政策6施策2「工業の振興」において、「製造品出荷額等」を KPI にするとともに、現況にこれまでの推移を掲載しました。
18	第4章 政策6施策2	熊本県における半導体工場のように、先進的かつ税収増・雇用増・所得増につながるターゲット産業を明確にした企業誘致を行っているのか。行っているならば、事業所数以外の評価指標はないのか？	鈴木委員	本市においては、製造業、物流業、倉庫業を希望業種としてはありますが、それ以外の業種を排除するものではありません。

	該当箇所	意 見	委員	対応状況
19	第4章 政策6 施策4	障害者の雇用についてはここには出てこないが、国の方から障害者雇用率を上げよう言われていると思う。市として、企業に対して障害者の雇用についての対策などに取り組んでいると思うが、このページには見当たらなかったの、ここでは対象外なのか。	細井委員	障害者の雇用については、政策3 施策4「障害者福祉の推進」において、事業例「障害者就労支援事業の実施」として掲載しております。 いただいたご意見を踏まえて、高齢者、女性の雇用に関する取組を含めて、本施策に再掲しました。
20	第4章 政策6 施策4	人材確保と定着支援の実施とはどのような内容なのか？	河合委員	事業例の記載を、「奨学金返還への支援」と「優良企業紹介の実施」に見直しました。
21	第4章 政策6 施策5	「本施策を推進する計画など」に書かれている「豊川市中心市街地商業等活性化基本計画」は、私の認識する限り、2001年に作った計画がそのまま残っていて、その状態で協議会の組織だけ残っているからここに書いてあると思うが、その計画に基づいてソフト事業をやるとするならば、担当部課に商工観光課が入っているはずなのに、全部都市計画課が担当していて、実質、施策の内容がほとんど基盤整備である。ソフト事業をやっていないに等しい状況で、これまでの総合計画の枠組みにあるというだけで「中心市街地の活性化」という施策を残しておく意味があるのかどうかということが大いに疑問。過去のレガシーがあるため、いずれ取り組むかもしれないということであれば、例えば薄いグレー表示にして、今は休業中という感じを表現してはどうか。または、ちゃんとやるのであれば、取組を充実する必要があるし、加えて、指標について、満足度を問うのは良いが、市民の方が誤解して評価している可能性もあるということで、非常にたくさん問題をはらんでいる気がする。	浅野副会長	本市においては、「豊川市中心市街地商業等活性化基本計画」に基づき、豊川地区、諏訪地区及び中央通地区を中心市街地と定めるとともに、都市計画マスタープランや立地適正化計画において、中心市街地及び周辺地区を中心拠点と位置づけており、他の計画なども含めて、拠点としての位置づけを意識して各施策に取り組んでいるところです。 また、本市の組織及び事務分掌において、都市計画課に中心市街地係を置き、中心市街地におけるソフト事業・ハード事業をどちらも担当しており、専門家の講演や地域の空き店舗の紹介などによる創業者の育成、おいでん横丁や本町ナイトなど地域の商店街や商店会と連携した活性化イベントに取り組んでいます。 これまでのまちづくりの経緯や、都市計画課をはじめとする庁内各課の取組などを踏まえて、原案のとおり「中心市街地の活性化」を行政分野別計画に位置付けさせていただきますが、いただいたご意見を踏まえ、事業例を追記するとともに、KPIを追加しました。
22	第4章 政策6 施策5	中心市街地3ヶ所の面積は122.4haで豊川市全体面積（16,114ha）の僅か0.8%である10年後の将来を見据える本計画においては、もう少し広い目線で策定した方が、と思われるがどうか？	権田委員	

	該当箇所	意 見	委員	対応状況
23	第4章 政策6施策5	将来目標「生活が充実している」を実現するには、雇用確保に加えて、所得増が必要。所得増に資する施策とKPI（勤労者の平均所得）設定を希望します。	鈴木委員	市民の所得については、本施策のみではなく、すべての施策の取組により向上を目指すものとして、基本計画P.15に掲載する総合的な数値目標に課税対象所得を採用しています。
24	第4章 政策6施策6	現況に、新しい夏の市民まつりを新たに開催（令和5年度とよかわ80周年夏まつり、令和6年度とよかわ輝まつり2025）等、豊川公園に新しくできた芝生広場を活用したにぎわい創出の取組を紹介してはどうか。 なお、レクリエーション統計の豊川市民まつりは、含まれているか？	平賀委員	現況欄について、統一的に前計画期間中の指標の推移を掲載しているため、原案のとおりとさせていただきます。 また、指標である観光入込客数には「豊川市民まつり」は含まれています。
25	第4章 政策6施策6	「年間観光入込客数」のほとんどが豊川稲荷の三が日の数字だと聞いている。豊川稲荷以外の観光客増を図らなければ、豊川市の観光振興にはつながらない。施策を正しく評価できるKPI設定を希望。	鈴木委員	令和6年の年間観光入込客数763.1万人のうち、豊川稲荷の三が日の参拝者数は約185万人です。本指標は本市の観光振興の施策をとらえるものとして必要であると考えため、原案のとおりとさせていただきます。
26	第4章 政策7施策1	第6次総合計画基本計画改訂版では、町内加入率をパーセントで示してあるが、今回はそれがパーセントではなくて世帯数になっている。わかりやすく加入率にした方が良いのではないか。	河合委員	近年、同居家族の世帯分離が増えており、例えば、祖父母、父母、子の3世代の家庭について、町内会には1世帯として加入しているが、住民登録上の世帯は祖父母で1世帯、父母、子で1世帯の計2世帯となっているなど、住民登録上の世帯数を分母とする町内会加入率では、市民の町内会加入の状況を適切に把握することができなくなっています。 そのため、KPIを加入率から加入世帯数に変更するとともに、減少傾向にある加入世帯数を維持していくことを目標として、現状値の世帯数を令和17年度においても同数とするものです。
27	第4章 政策7施策1	当日、質問したことで重複するが、町内会の加入世帯の過去10年の推移とこの先10年後のKPIのとらえ方が「未来のとよかわビジョン2025」のP102には70.0%・54,135世帯と併記表示でありながら、本日の説明資料では53,868世帯（令和7.4月）と単独表示となっている。ここは、併記表示の方が動向として見やすくわかりやすい。 また、10年後のKPIには53,868世帯の実数が、そのままの表記となっているのは不自然ではないか？ 特に、町内会加入率は年々減少傾向（H23は80%・R2は70%・R5は68%）年々下降の一途である。この状況は、町内会が崩壊する大変に危惧する所である。	権田委員	
28	第4章 政策7施策1	町内会加入世帯の評価は、加入率にしなければ、市の世帯数が増減している中で、施策の効果（加入世帯の増減）を正しく評価できない。	鈴木委員	

	該当箇所	意 見	委員	対応状況
29	第4章 政策7施策1	町内会の活動における ICT 化の推進とあるが、町内会に加入して活動しているほとんどの人は高齢者である。ICT 化の推進や支援は高齢者も対応できる内容にしないと町内会に取り入れてもらうことさえ出来ない。また、町内会に加入していない高齢者世帯の対応はどうすべきなのか？対策を事業例に入れてもらいたい。	河合委員	町内会活動における ICT 化の推進については、地元企業と連携したスマホ教室を開催し、電子回覧板の使い方を指導する取組などを実施しています。また、高齢者世帯については、政策3施策3「高齢者福祉の推進」に掲載する事業例「見守り活動の推進」において、地域や協定締結企業と協力して見守り活動を実施しています。
30	第4章 政策7施策2	これまで 30%台だった KPI「男女共同参画」市民満足度が、R9 から R17 にすごい角度で増加している理由は？	鈴木委員	総合計画の政策・施策に対応するすべての分野の市民満足度の動きをとらえて、全体の平均値が過去のトレンドと同様に伸びていくように設定すると、個別の施策に対する満足度はどのようになるかという計算方法のもとに設定させていただいています。個別の施策において満足度が平均値より低いものについては、他の施策に比べてより上昇を目指す取組が必要であるという認識のもと、上昇幅が大きい設定としています。
31	第4章 政策7施策2	KPI「固定的な性別役割分担について見直すべきと思う人の割合」の R7→R9 の大幅増の理由は？	鈴木委員	資料に掲載する令和 7 年値は、暫定値として令和 5 年値と同数を掲載していますが、目標値の設定においては、令和 7 年値を 80%と仮定して計算しているため、令和 9 年度値が大きく上昇しているように見えています。令和 7 年値が確認でき次第、目標値についても見直す予定です。
32	第4章 政策7施策3	KPI「成年後見制度に関する相談件数」の R6→R8 の大幅増の理由は？	鈴木委員	豊川市成年後見制度利用促進計画において、成年後見に関する相談体制が充実していることを表す指標として掲げている目標値と合致させているため、大きく上昇しているように見えています。

	該当箇所	意 見	委員	対応状況
33	第4章 政策7施策5	インターネットを使用したアンケート調査は公表しないのか？調査結果の活用とあるが、どんな内容がわからない。事例を示してもらいたい。	河合委員	豊川市電子市政モニター「とよかわデジモニ」における取組として、アンケート結果を市ホームページにて公表しており、各アンケート事案の実施目的を明記しています。
34	第4章 政策7施策5	KPI でホームページのアクセス件数とあるが、この件数は何を目的にしているのか？アクセス件数を指標にすることはもう時代遅れではないか？逆に、電話問い合わせ件数を減らすことを目標にして、ホームページの活用を促してみてはどうか？	河合委員	市ホームページが市民生活においてさらに役立つものとなるよう、AI チャットボットを導入し、市民の知りたい内容が案内されているページに誘導するなどの取組を実施しています。 電話問い合わせ件数を減らすご提案については、インターネット利用が苦手な市民の方もいることから、掲載は見送らせていただきます。